

2022年3月7日
南海電気鉄道株式会社

—南海電鉄のまちづくり—

泉北ニュータウン「泉ヶ丘駅前活性化計画」始動

～次代の沿線中核都市「泉ヶ丘」を目指して～

南海電気鉄道株式会社(社長:遠北光彦、以下「南海電鉄」)では、2021年度経営計画において中長期的施策として、「まちづくりの推進」を掲げ、沿線の「暮らす・働く・訪れる」価値を高め、沿線人口の社会増につなげることを目的とし、ストレスフリーな移動や駅を拠点としたまちづくりに向けた取り組みを推進しております。このたび、南海電鉄では、沿線の重要拠点である泉北ニュータウン・泉ヶ丘において次代の沿線中核都市「泉ヶ丘」を目指し、行政と共創で、「泉ヶ丘駅前活性化計画」を始動することを決定しましたのでお知らせいたします。

1. 「泉ヶ丘駅前活性化計画」始動の背景

泉北ニュータウンは高度経済成長期の住宅需要に応えるため、1967年の泉ヶ丘エリアの街びらきを皮切りに発展し、1992年には人口16.5万人を誇った関西を代表する大規模ニュータウンです。しかしながら、街びらきから50年余りを経て、2020年には人口が11.8万人まで減少し、2030年には人口が10万人を割り込むという予測が出るなど高齢化・人口減少という社会課題が顕在化しております。

一方、2025年11月に近畿大学医学部及び近畿大学病院(以下、「近畿大学病院等」)の泉ヶ丘エリアへの移転(予定)、コロナ禍において自然豊かな郊外環境で暮らす・働く・訪れることが趣向されていること、さらには、堺市が2021年に泉北ニュータウンの新たな価値の創造を目指して、「SENBOKU New Design」を策定し、大阪府・堺市が泉北ニュータウンをスマートシティの重点地域と位置付けるなど泉北ニュータウン・泉ヶ丘にとって明るい要素が出てきています。

南海電鉄としても、これらの動きに呼応し、スマートシティに関する取組みなど泉北ニュータウンの活性化につながる取組みを推進するとともに、「泉ヶ丘駅前活性化計画」に着手し、泉ヶ丘に新たな価値を創造し、これまでは「ベッドタウン」という位置付けであった泉ヶ丘を次代の沿線中核都市とすることを目指します。

2. 「泉ヶ丘駅前活性化計画」の概要

【計画概要】

建物規模	地上4階、地下1階
施設用途	商業・金融サービス、オフィス、 医療施設、広場機能など
延床面積	約16,000㎡
竣工予定	2025年9月(10月開業予定)
工事着手	2022年4月から順次開始

※なお、新築計画の詳細については、決まり次第改めてお知らせします。



【コンセプト】 「医・職・充」が揃う郊外型ミクストユース

次代の沿線中核都市「泉ヶ丘」を目指して

【重点施策】

(1) “PARK(広場)が主役”の環境空間を創る

これまで地域にお住まいの方々やショッピング等で来街された方々の寛ぎの広場、週末を中心にエリアマネジメント活動の中心地としての役割を果たしてきた広場を刷新します。泉ヶ丘駅前活性化計画として新築する建物の2階に大規模な広場を設け、駅前ロータリーデッキ2階にある堺市くすのき広場と一体化します。また新築建物4階建の各フロアや屋上階にも広場を設けるなど、泉ヶ丘にこれまで以上の「充」実したPARK(広場)を創ります。

(2) “walkable”な空間を創る

泉ヶ丘エリアに移転予定の近畿大学病院等と泉ヶ丘駅を結ぶ歩行者動線は、現在バリアフリー等ユニバーサルデザインに配慮した歩行者動線の視認性が悪い状況です。このたび泉ヶ丘駅前活性化計画として新築する建物は、泉ヶ丘駅と近畿大学病院等を結ぶルート上にあることから、バリアフリー等ユニバーサルデザインに配慮した歩行者ネットワークを堺市と共創することで、泉ヶ丘駅前に「充」実した“walkable”な空間を創ります。

(3) 泉ヶ丘ならではの“機会”を創る

なんばから30分圏内という利便性と緑に囲まれ自然豊かな郊外環境という快適性をあわせ持つ泉ヶ丘駅に、これまで地域に不足していた「働く場」、「子育てを支援する機能」といった次代を担う若年世代が活躍出来る機会を創り、地域課題である人口増加に貢献してまいります。

なお、具体的な誘致機能については、決定次第改めてお知らせいたします。



左側に泉ヶ丘駅前ロータリーデッキ2階堺市くすのき広場、右側に同計画新築4階建のうち2階広場を中心に望む

【参考】これまでの主な取組み

- 2014年8月 (一財)大阪府タウン管理財団※より泉ヶ丘駅前地区の施設を取得
- 2016年4月 施設名を「泉ヶ丘ひろば専門店街」に改称し、駅前広場を全面リニューアル
- 2018年4月 泉北高速鉄道が泉ヶ丘駅をリニューアルし、新たな商業エリアを開業
※現(公財)大阪府都市整備推進センター

以上

南海グループでは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。
今回ご案内の取組みは、8番、9番、11番、17番に繋がるものです。

